

◆ “ふるさとちば”のための政策推進を◆

石井かずみ県議会リポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7910

県内6児相への児童虐待相談件数

昨年度 約20%の大幅増加

石井議員 国の報告によれば、児童相談所での児童虐待相談対応件数は年々増加し、平成30年度は約15万件を超える。前年度と比較しても約2万6千件増加している状況にある。

千葉県の平成30年度の児童相談所における児童虐待相談対応件数は、千葉市を含め、昨年度より約千件増加し、9千60件で全国4位という、大変多くの相談対応件数になっている。

千葉県においては、令和2年6月に知事に対し、県社会福祉審議会から児童相談所を2カ所増設すべきとの答申が出されている。そこでうかがうが、千葉

9月定例県議会一般質問



9月定例県議会で一般質問に臨む石井一美県議

住んで良かったと思える街づくりに力を注いでいる石井一美県議（鎌ヶ谷市選出、2期）は9月定例県議会で一般質問に臨み、児童虐待相談への対応などについて質問しました。児童相談所への相談件数が大幅に増加していますが、森田知事は県民の児童虐待に関する知識と理解が一層深まるよう取り組むと答弁しました。このほか、北千葉道路、河川整備、新型コロナの検査体制などについて県執行部に聞きました。石井県議の質疑と県執行部の答弁を特集します。

県民、学校の理解深まり

な増加となっています。

件数が増加する要因の一つとして、県民や学校等関係機関の児童虐待への意識が高まったことが考えられます。が、虐待の発生予防早期発見のために県民等には県民の児童虐待に関する知識と理解が深まるよう取り組んでいるところです。

がより一層理解を深めるとともに、迷わず通告・相談できることが重要です。そのため県では年間を通してラジオCMやウェブ広告の配信による広報・啓発を行っており、しつけと称する体罰は法律で禁止されていることを周知するなど、県民の児童虐待に関する知識と理解が深まるよう取り組んでいるところです。

児相、2カ所増設へ

石井議員 本年6月に千葉県社会福祉審議会から出された答中の概要及び、答申を受けた県の取り組み状況はどうか。

健康福祉部長 本年6月4日に出された県社会福祉審議会の答申では、昨今の児童虐待対応件数の増加や一時保護所の定員超過の状況を考慮すると、児童相談所1か所当たりの管轄人口が全国平均を大きく上回っている状況を改善するため、児童相談所を2か所増設する必要があるとされています。

置に向けて、どのように進めいくのか。

健康福祉部長 新たな児童相談所の設置に向けては、現在地元市も含め、関係機関等と調整を進めていきます。

松戸市・鎌ヶ谷市管内に設置する児童相談所は、約60人の人口を管轄することになりますが、候補地の選定にあたっては、未利用公有地の活用を基本に、交通機関等の利便性や周辺環境等の諸条件を勘案の上、総合的に判断します。

再質問 また、管轄区域については、他の分野における行政区域等の社会的諸条件を勘案して検討した結果、新たな区分けを行うとともに、増設設する2カ所については、印旛郡市に1か所、松戸市・鎌ヶ谷市に1か所とされました。

石井議員 松戸市・鎌ヶ谷市を管轄する児童相談所の設

石井かずみ・PROFILE

■略歴■

- 昭和19年 鎌ヶ谷市に生まれる
- 昭和38年 千葉工商高校卒 同年 有限会社石井商店勤務
- 昭和62年 鎌ヶ谷市議会議員当選(7期)
- 平成9年 鎌ヶ谷市議会議長
- 平成27年 千葉県議会議員当選(2期)

■現職■

- 千葉県議会 総務防災常任委員会委員
- 鎌ヶ谷市野球協会会長
- 社会福祉法人理事

●県政や鎌ヶ谷市のまちづくりに関する相談をお気軽にどうぞ

石井かずみ

県議
事務所

〒273-0132鎌ヶ谷市栗野153
TEL 047-443-4731
FAX 047-443-4731

令和2年11月1日(日曜日)

石井議員 北千葉道路の事業化に向けて、本年2月には都市計画アセスメントに着手され、今年度、沿線市において概略計画の住民説明会を開催し、本年2月には都市計画の変更案及び環境影響評価準備書が総覽されるなど、今年度は事業化へ向けた手続きの最終段階だと期待している。

そこでうかがうが、北千葉道路の西側の事業化に向けて手続きの最終段階として、大柏川第二調節池の整備を進めています。

石井議員 県が管理している大津川や真間川流域の大柏川第二調節池の整備状況と今年度の事業内容はどうか。

石井議員 県土整備部長 大津川に

災害に備え、早急な工事要望

大津川の河道拡幅

については、手賀沼から関根橋までの5・7キロメートルの区間に河道拡幅を進めており、手賀沼から上大津川合流部までの4・8キロメートルを完成しております。現在、残る上流側の用地取得を進めおり、今年度は上大津川

川合流部付近において取り組んでおります。

また、大柏川第二調節池については、現在、用地取得率が91%となつております。現

で貯留機能の早期確保を目指しており、今年度は掘削に先立ち、周辺の地盤沈下を防止するための対策工事に着手いたします。

今後も、地元の皆様へ丁寧な説明を行い、ご協力をいたさないながら、治水効果の早期発現に向けて事業を推進してまいります。

については遅い。危険な場所は早めに整備をしてくことが大事である。今回の7月豪雨のよう、社会的弱者である高齢者の方々が被害に遭うことが最近は多い。大津川や大柏川第二調節池には、周りに老人の福祉施設や子供の学べる幼稚園などがあるので、できるだけ、一日でも早く事業を進めていただくよう要望する。

石井議員 災害は、用地取得の状況を踏まえ、調節池の上流側区域において掘削や築堤を行うこと

北千葉道路市川～船橋

今年度中に手続き完了へ



議場の自席で再質問を行う石井県議

石井議員 北千葉道路の事業化に向けて、平成30年1月に具体的な手続きとして、都市計画の変更や環境アセスメントに着手され、今年度は事業化へ向けた手続きの最終段階として、大柏川第二調節池の整備を進めています。

現在どのような状況か。 知事 北千葉道路の市川市から船橋市間については、千葉県環境影響評価委員会の調査審議を経て、

トの手続きを併行して進められており、環境アセスメントについては、千葉県環境影響評価委員会の調査審議を経て、

市計画案と併せて千葉県都計画審議会に諮り、今年度中に手続きを完了させることともに、来年度に国において新規事業化が図れるよう取り組んでいます。

そのため、市のまちづくりにとつて、最も重要な用地であることから、鎌ヶ谷市の意見を十分聞いてもらえると見ておきます。

当該センターは、一週あたり3日、それぞれ90分間運営されており、5月の設置から9月27日までの間で、合計791件の検査を行っています。

石井議員 新鎌ヶ谷駅前の県有地について、市のみちづくりを踏まえ、返還後どのように処分していくのか。

企業局長 企業局が保有する新鎌ヶ谷駅前の土地約9500平方メートルについては、その大部分を新京成線連続立体交差事業の用地として貸し付けています。

昨年12月に全線が高架化し、運行を開始しているところから、現在、不要となった線路の撤去などが行われているところであり、撤去後に、土地が返還される予定となっています。

鎌ヶ谷市の地域外来・検査センターの新型コロナ検査の拠点です。これまで、地域における新型コロナウイルス感染症の検査が必要と診断した際に、その医師からの依頼により検体を採取しています。

環境影響評価書 大臣の意見待ち

石井議員 現在、用地買収を進めている国道464号栗野バイパスを北千葉道路に先行して整備し供用させ、早期に事業効果を發揮するべきと考えるがどうか。

県土整備部長 国道464号栗野バイパスは、鎌ヶ谷駅前で貸し付けられています。北千葉道路の計画区域に含まれることから、その事業化に際し、しっかりと引き継がれるよう事業者と調整してまいります。

石井議員 北千葉道路に接続する鎌ヶ谷都市計画道路の整備について、県はどのように考へているのか。

県土整備部長 北千葉道路の整備効果を広く波及させ、地域の活性化や利便性の向上を図るために、北千葉道路の整備に併せ、ア

先行整備し供用を

谷市街地の交通混雑の緩和と歩行者等の安全確保を図るために整備を行つております。

石井議員 北千葉道路に接続する鎌ヶ谷都市計画道路の整備について、県はどのように考へているのか。

1・2号栗野田境線や3・4・10号中沢北初富線につけては、北千葉道路に併せた整備に向けて、鎌ヶ谷市と調整しながら、具体的な整備計画の検討を進めているところです。

街のにぎわい創出 念頭に分譲を検討

石井議員 新鎌ヶ谷駅前の県有地について、市のみちづくりが創出され、駅前にふさわしい施設が立地されるよう土地活用をとの要望が出されており、これを踏まえながら、分譲条件の検討を進めてまいります。

返還後の土地処分にあたっては、鎌ヶ谷市から「にぎわいが創出され、駅前にふさわしい施設が立地されるよう土地活用を」との要望が出されており、これを踏まえながら、分譲条件の検討を進めてまいります。

そのため、市のまちづくりにとつて、最も重要な用地であることから、鎌ヶ谷市の意見を十分聞いてもらえると見ておきます。

当該センターは、一週あたり3日、それぞれ90分間運営されており、5月の設置から9月27日までの間で、合計791件の検査を行っています。

アクセス道路整備推進

谷市街地の交通混雑の緩和と歩行者等の安全確保を図るために整備を行つております。

1・2号栗野田境線や3・4・10号中沢北初富線につけては、北千葉道路に併せた整備に向けて、鎌ヶ谷市と調整しながら、具体的な整備計画の検討を進めているところです。

新鎌ヶ谷駅前の県有地

石井議員 新鎌ヶ谷駅前にある新鎌ヶ谷駅に隣接しており、市の顔として中心的な役割が期待される地域にある。

石井議員 新鎌ヶ谷駅前の県有地について、市のみちづくりが創出され、駅前にふさわしい施設が立地されるよう土地活用をとの要望が出されており、これを踏まえながら、分譲条件の検討を進めてまいります。

新鎌ヶ谷駅前の県有地

石井議員 新鎌ヶ谷駅前にある新鎌ヶ谷駅に隣接しており、市の顔として中心的な役割が期待される地域にある。

石井議員 新鎌ヶ谷駅前の県有地について、市のみちづくりが創出され、駅前にふさわしい施設が立地されるよう土地活用をとの要望が出されており、これを踏まえながら、分譲条件の検討を進めてまいります。